

職人さん。

いの町のまちで会いましょう

第15話

2022.3月号

家族と一緒に、自分らしく生きていくための仕事。

クリーニング師 池田 伶司さん



プロフィール: 小学校3年生から両親と高知市へUターン。営業職を経て、曾祖父が創業したクリーニング店を2011年に27歳で承継、3代目に。クリーニング師。令和3年度より、いの町商工会青年部部長を務める。



大国さまに近い中心商店街の北側、入り口前の側溝から湯気が立ちのぼっています。黄色いテナトも新しい、こちらが岡田クリーニング店。池田伶司さんは、母方の祖父母が営んでいたお店を受け継ぎました。創業したのは郷土史の研究でも知られた曾祖父です。自店で洗って仕上げ、集配もするという、いまでは貴重な独立店なのです。

アイロンがけは最もプロの技が実感できる工程。重い業務用アイロンで、熱と蒸気を送りながら、すみずみまで安定した形に整えます。ジャケットなどは台でかけた後、吊ってアイロンをかけ、バシッと仕上げます。「大じなお客さんのため、しわもよれものこしません。」作文でこう書いたのは、小学生の長男。クリーニング名人として紹介する内容で、健康も気づかい、働くお父さんが大好きなのが伝わってきます。

幼い頃から毎週のように遊びに来ていた商店街のにぎやかなお店。面白い道具もいっぱい。大人になり、いくつかの仕事を経て、25才でク



ナオモト製の重いアイロンが相棒です。

リーニングの仕事に入りました。将来のことを真剣に考え始め、家庭をつくったら、きちんと子育てに関わっていくことが夢だったので、でも、企業に勤めていたら安定はしても、この理想的な生き方はまずできないのではと。

そんな時期、子どもの頃からよく知る祖母の店が、祖父の引退で祖母と職人さん1人になってしまい、閉める話も出ていました。店がなくなるのはもったいないし、子育てのことも考え、やらせてほしいと頼んだそうです。承継は27歳。子どもは10歳を頭に3人。職・住が近いので、忙しい日は夕方帰って子どもたちと晩ご飯を食べ、再び店に戻って仕事をします。保護者としての活動も担い、日々成長していく子どもたちとの時間は、池田さん夫妻の、人生のごほうび。

妻のりさんは、親どうしが友達だったので、すが、お互いのことは20歳代で紹介されるまで知らず。るりさんも、「あのお祖父ちゃんの仕事をするのなら」と、脱サラ・自営業への転換を支えてくれています。保育士の資格を持つるりさんも、今は店を手伝っています。

「家業があつて、カッコイイと思ったら、受け継ぐといい。将来性は誰にもわからないし、やり方次第で無限にある。家族と一緒に自分らしく生きていけるのが一番です。」実践した池田さんのメッセージは心強く響きます。



しみ抜きに出るプロのテクニック。

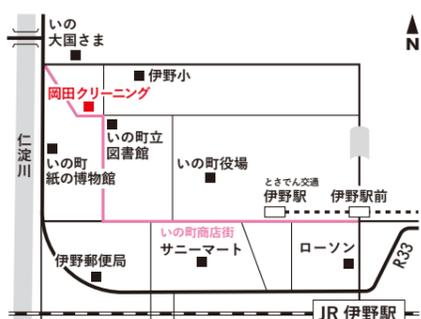


家庭の洗濯代行サービスも!



ネクタイのアイロンがけに使う補助具。

りさんも、今は店を手伝っています。



岡田クリーニング店

いの町 3630
営業 / 8:30 ~ 18:30
定休日 / 日曜・祝日
TEL / 088-892-0312

